

校長研修だより20

“これから”を知る

2021・7・15 重枝 一郎

先週、S2の進路説明会が行われた。「進路」という関心もあったと思うが、多くの保護者の参加があった。保護者の認識はどうかかわからないが、保護者自身の世代とは求められる社会人像も大きく変わっている。何がどう変わっているのか、高校・大学を通じてどんな学びが生徒に待っているのか、学年の先生方、教務主任の越智先生が話した。

ここ数年で学校教育が大きく変わってきていることは誰もが知るところである。大学は、私や保護者の時代と比べ、自由を満喫するよりも、社会に貢献できる人間になることを求められている。就職活動でも、大学の名前よりも、大学で何を学び、何を得たかをきちんと語れる人が選ばれる時代になりつつある。このような背景を踏まえ、執行先生から最後に「生徒がこれからの社会を生きるために、今つけておく必要な力」として次のようなことが話された。

「社会との関係を自分の力で構築できること（力）」

それは「生徒にとって自立であり、そのために自律できること（力）」

この「自立・自律」が社会へのパスポートになる

そして、「自立・自律」に向けての3つのこと

- ① その時々で、自分なりに、自分を正しく自己認識できる
- ② 多くの意見の中で、柔軟性・耐性をもって自分の意見を見つけ整理し、表現する力
- ③ どんな状況でも向上心を失わないこと

世の中が変化しているから、社会で活躍できる人材像も変化し、それに合わせて教育も変わってくる。この変化は皆つながっている。（リクルート：キャリアガイダンス参照）

社会は・・・

これまで

大企業に入れば一生安泰
条件のよい企業に就職
一つの会社で勤め上げる
上司からの指示を忠実にこなす人材
学校で学んだ知識で定年まで

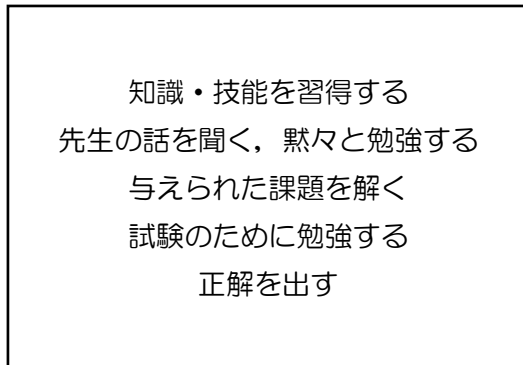


これから

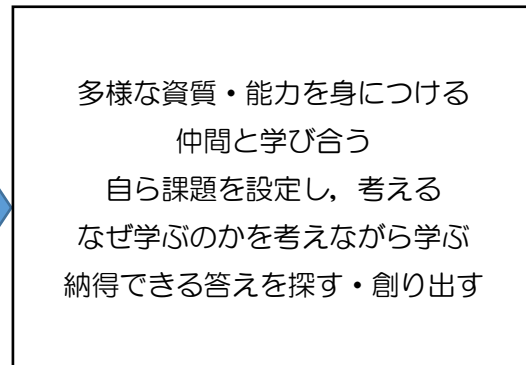
柔軟に変化する企業が生き残る
自分に合った企業に就職
転職や起業も視野にキャリアをつくる
新たなアイデアを生み出す人材
社会人になっても学び続ける

教育は・・・

これまで

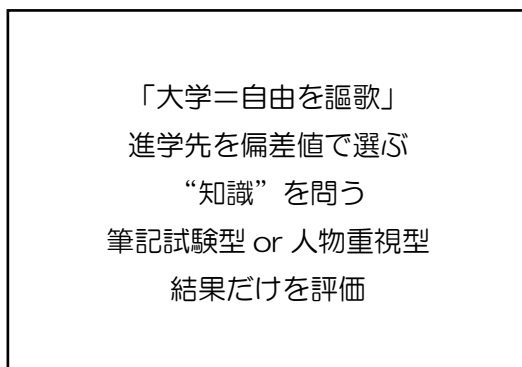


これから

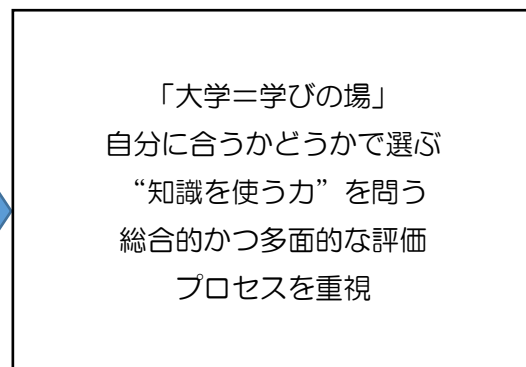


入試・進路選択は・・・

これまで



これから



私たち教師も、目の前の仕事と学びを行き来することを常に行っていると思う。その中で、周囲の期待に応え、自らの価値を上げていくことをしている。

私たち女学院教師は、学び続ける姿勢を常に意識したい。一昔前と違うのは、いつの時代も変化はあるが、今はそのスピードが速いということである。大変なことはあると思うが、とにかく明るくやってみよう。